

# 令和7年度事業報告書

法人の名称 NPO 法人全国森林インストラクター神奈川会

## 1. 事業の成果

令和7年度は、活動がコロナ禍前に定着したものの、引き続き注意喚起を図りながら安全第一の活動を行った。森林保全活動では新たな他団体運営支援活動場所が広がった。昨年同様ステークホルダーとの連携等も引き続き順調に行われ、会報発行やホームページの継続的な発行・更新により森林インストラクターの認知度アップや地位の向上に向けたアピールも行われた。また、会員相互の連絡・連携はWEB会議やメーリングリストの活用が定着し活発に行われ、WEB会議が新たな活動の柱となってきた。今後もこの経験を生かして、会の事業が様々な状況に対応し、継続的に活動していくことが大切である。新規会員加入も順調に推移したが、従前以上に社会活動に従事している会員も多い。会の活動に、より参画してもらう工夫を行い、かつ活動しやすい環境の整備を図り、事業活動継承に繋げて行く。

## 2. 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

森林保全活動に関する事業

#### ア 他の森林保全団体への運営支援事業

- ・ 内 容 他団体が実施する森林保全活動の指導・支援を行った。
- ・ 日 時 1~12月 随時
- ・ 場 所 湘南の森、名瀬谷戸の会、相模原こもれび、フォレスト21 さがみの森、鎌倉風致保存会等。
- ・ 従事者人員 10人~44人/回
- ・ 受益対象者 市民
- ・ 支 出 額 0円

森林環境教育に関する事業

#### ア 「神奈川の身近な自然を訪ねて」事業

- ・ 内 容 神奈川県内および近隣都県の自然公園、寺社等を中心にウォーキングを兼ねた観察会を実施した。
- ・ 日 時 1~12月 計16回(月2回、7月・8月は休会、雨のため4回中止)
- ・ 場 所 神奈川県内および近隣都県の自然公園、寺社など自然観察や史跡めぐりに適した地域
- ・ 従事者人員 5~6人/回
- ・ 受益対象者 県内在住を中心とした一般市民 平均18.3人/回
- ・ 支 出 額 435,000円

#### イ 「四季の森公園自然観察会」事業

- ・ 内 容 四季の森公園にて、園内の動植物の観察会を実施した。
- ・ 日 時 1~12月 計17回  
自然を訪ねては7回(雨天中止1回)、特定植物観察会は9回、里山ラボ1回を実施した。またイベント参加の一環で「四季の森公園まつり」に参加した。
- ・ 場 所 神奈川県立四季の森公園
- ・ 従事者人員 2~4人/回
- ・ 受益対象者 四季の森公園周辺在住を中心とした一般市民約10~20人/回(手話通訳付きの1回は24人)
- ・ 支 出 額 124,665円(「四季の森公園まつり」の支出含む)

#### ウ 「かながわジュニア・フォレスター教室」事業

- ・内 容 (公財)かながわトラストみどり財団との共催により、小中高生を対象に、自然観察会、キャンプ、森林保全活動などの森林体験活動を3回実施した。
- ・日時・場所 3月20日(日帰り)、7月26日~27日(1泊2日キャンプ)、10月19日
- ・場 所 名瀬里山(日帰り)、丸太の森公園(1泊2日)、茅ヶ崎里山公園(日帰り)
- ・従事者人員 3月20日17人、7月26日~27日14人、10月19日12人、
- ・受益対象者 県内在住を中心とした小中高生及びその保護者
- ・支 出 額 1,009,000円

#### エ 「学校環境教育」事業

- ・内 容 小学生を対象(先生対象も含む)に、環境教育授業で出前講座を実施した。
- ・日 時 1~12月 計39回
- ・場 所 小学校敷地内、自然公園(観察の森)、里山等
- ・従事者人員 6人/回
- ・受益対象者 県内小学校の児童先生2,298人
- ・支 出 額 236,390円

#### オ 受託観察会事業

- ・内 容 (公財)かながわトラストみどり財団・(一財)森林林業振興会・県立三ツ池公園から野外自然観察会の講師を受託実施した。
- ・日 時 3・5・11月
- ・場 所 横浜西区・横浜狩場(下見のみ)・小田原・三ツ池公園
- ・従事者人員 延べ12人
- ・受益対象者 一般参加者30名/回等
- ・支 出 額 110,570円

#### 上記事項に関する情報提供事業

- ・内 容 上記事業に関する情報をインターネットやリピータへのダイレクトメール等を通じて発信し、参加者の募集、法人や活動の認知度アップを図った。
- ・日 時 1~12月
- ・場 所 ネット上他
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 市民
- ・支 出 額 0円